

平成 22 年 12 月

各 位

「放射線作業者の被ばくの一元管理」シンポジウム開催にあたって

日本学術会議では、平成 22 年 7 月 1 日付けで、「放射線作業者の被ばくの一元管理について」の提言を公表いたしました。

提言は、以下からご覧いただけます。↓

<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-21-t99-1.pdf>

放射線作業者の被ばくの一元的な管理に関しては、昭和 40 年代に原子力委員会等から提言されて 50 年近く経ったにもかかわらず、未だに実現していません。このため現在の日本では、「放射線作業者の線量限度が遵守されているか」という、放射線防護上の基本的なことから国として把握できていません。

日本学術会議では、このような放射線防護の本質的な課題を解決するため、関係者の方々と共に、海外の状況も踏まえつつ、実現に向けての糸口を探るために、標記シンポジウムを開催いたします。

関係者の皆様と情報を共有し、議論ができればと考えておりますので、皆様方の参加をお待ちしております。

日 時：平成 23 年 1 月 25 日（火）13：00－16：30

場 所：日本学術会議 講堂（乃木坂駅から徒歩 1 分）

東京都港区六本木 7－2 2－3 4

※ 参加費無料・事前申し込み不要

※詳細のプログラムは、日本学術会議 HP をご覧ください。↓

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf/109-s-3-1.pdf>

日本学術会議「放射線・放射能の利用に伴う課題検討分科会」委員長

柴田 徳思（日本原子力研究開発機構・客員研究員）

TEL 029-282-5021

E-mail: tokushi.shibata@kek.jp

以 上